

福岡県済生会八幡総合病院

研修医 小柳 俊彰 2014年8月

済生会八幡総合病院、初期臨床研修医2年目の小柳俊彰と申します。

今回平成26年8月に出水総合医療センターで研修させていただきました。

出身は長崎県で、鹿児島には数回旅行で来たことはありましたが、出水の地は初めてでした。

出水の第一印象は山、海があり自然豊かでアウトドア大好きな僕としてはとてもわくわくしました。

1ヶ月間の研修の内、初めの1週間は野田診療所、2週目を高尾野診療所、3週目を出水総合医療センターの外科、4週目を小児科で研修させていただきました。

1週目の野田診療所では、内村先生はとても教育熱心で外来がとても忙しいにもかかわらず一人ひとりに対して学ぶべきことを教えていただきました。また、上部消化管内視鏡をさせていただいたことがとてもよい経験となりました。初めての経験であり、1例、1例と重ねる毎に上達していくのを感じました。心エコーに関しても、今までは記録には残さず当てていただけでしたが、野田診療所で1人でエコーを任せていただき、測定すること、記録することの難しさを改めて感じました。

また上場診療所での研修もありました。上場診療所は車で40分程度離れた山奥にあり、へき地医療を学びました。血液検査も画像診断もなく、病歴、身体診察のみという医療の原点を目の当たりにしました。

また、母子保健センターでの1歳6ヶ月検診、3歳児検診も研修させていただきました。1歳6ヶ月、3歳という小児の発達での重要な年齢の子をみることができ、とても学ぶことが多くありました。

2週目の高尾野診療所では、西元寺先生、長谷川先生にお世話になりました。

西元寺先生には、全人的な診療の仕方を教えていただきました。また、手指の切創の患者さんが来られた際に縫合させていただき、とても細かい技術まで指導していただいたのが勉強になりました。長谷川先生には、抗不整脈薬に関してさまざまなことを教えていただきました。

3週目の外科研修ではヘルニア、胃幽門切除などの手術を見学させていただきました。とても高い技術の手術を見せていただきました。また、マムシ咬傷の患者さんも来られ、乱切、その後の肩までの腫脹と、福岡ではみることのできない貴重な症例を見ることができました。

粉瘤の小手術もさせていただきました。実際に行くと動画でのイメージトレーニング通りにはなかなか上手く行かきませんでしたが良い経験となりました。

4週目は小児科で研修させていただきました。研修医になって小児科をまだ研修していない状態で一からさまざまなことを教えていただきました。

また、17時以降に関しても、とても充実した1ヶ月間でした。毎日のように飲みを誘っていただき、地域の先生方の強いつながりを見せていただきました。医療センターの先生、開業医の先生、また阿久根広域医療センターの先生までも飲み会に参加されており、地域の医療の充実のため熱い議論を交わされていました。

1ヶ月というとても短い間でしたが、出水の皆様のおかげでとても良い地域医療の研修をさせていただきました。心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。